

各組合・地域労連 殿

青森県労働組合総連合

TEL 017-762-6234、FAX 017-729-2186

メール ao110@kenrouren.jp

【発信者】事務局長 有馬美恵

塩釜に行ってきました... ゴミと車の山で悲惨でした...

本日第3弾は岩手に行ってきます！

昨日、宮城県労連の事務所には、組合結成したばかりの青年たちが大勢いました。映画やパチンコなど展開している「コロナ」がアルバイト300人を突然解雇したとのことでした。私たちは宮城県労連から頼まれ、塩釜で拠点となっている事務所に物資を届けることになりました。行く途中、市内のコンビニは全て閉店、たまに開いているスーパー・ガソリンスタンドには長蛇の列で、いまだ生活必需品を手に入れるのに苦労している様子をまのあたりにしました。塩釜に入るとそれはもう悲惨で…。ニュースで見る光景と同じく、街はゴミの山、水害を受けた車の山でした。今回の物資では、特に新婦人からいただいた衣類や下着が喜ばれ、農民連からいただいた物資見て「おお、卵と味噌だ！ありがたい」と声が聞こえました。荷物の積み下ろし作業を見て、杖をついたおばあさんが寄ってきました。「カセットコンロのガスがきれて、この2日間、煮炊きしたものを食べていない。半分でも残っているのだからカセットコンロのガスボンベはないのでしょうか？年寄り2人で暮らしていて、何もありません」と言われました。カセットボンベを積んでこなかったことを悔やみました。「ごめんなさい、今日は積んできていないので、あさってまたきますから寄ってください。困ったことがあったらいつでも事務所に来てください」と背中をさすり、リンゴやお菓子を袋につめて渡しました。その後宮城県労連に戻り、必要なものを聞いたら、「じつはガソリンがなくて宣伝カーを動かさないんです」というので、25日にガソリン・灯油・ガスボンベなどを持ってくる約束をしました。とても遠慮がちに言うので、「私たちは青森の仲間の義援金を形にして、みなさんに届ける義務があるのです。遠慮しないでほしいものをどんどん言ってください」と言い、建交労岩手農林支部からいただいた飲料2ケースを差し入れし、帰途につきました。ということで、今日は岩手県入りですが、明日また宮城入りします。(高教組から「金のことは心配しないで物資を届けよ」とメールがきていたので言えた言葉です)。みなさんの心を、今は“義援金”と“物資の寄付”でお願いします！



【3/23 被災地から要望のあったもの】

防寒着・衣類・下着・粉ミルク・おむつ・生理用品・ガスコンロ・ガスボンベ・レトルト食品・ガソリン・灯油

*みなさんからの義援金で仕入れしますが、自宅で使っていないもので寄付が可能でしたらお願いします！

(民医連から紙おむつなどが届きました。ありがとうございます。)